

## エボニック、世界中の教室で3D技術を利用可能に

- ・ 東京で開催された「世界科学館サミット」で、新世代の『Cyber Classroom 2.0』を発表
- ・ オンライン上で仮想学習コンテンツの呼び出しが可能に
- ・ すべての関係者が3D学習コンテンツの制作に参加できることに

2017年11月24日

本件に関するお問合せ  
菅田 まり  
リージョナルコミュニケーションズ  
マネジャー  
TEL 03-5323-7353  
FAX 03-5323-7399  
info-jp@evonik.com

スペシャルティケミカル企業であるエボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン)は、11月15日から17日に東京で行われた世界科学館サミット(SCWS)で、3D技術を応用した化学授業「Cyber Classroom 2.0」を発表しました。これは、エボニックが2011年に発表した「Cyber Classroom」をさらに進化させ、オンライン上で3Dの化学の授業が実施可能になったものです。

このサイバー教室は3D技術を応用したものであり、化学もまた三次元のものであります。近年、このCyber Classroomで指導を受ける学生はみな、これを自分自身の目で見るできるようになりました。あらゆる角度から分子や原子を観察し、化学物質を使う複雑な実験の設定を素早く、事故の危険なく調べられるようになっています。そしてエボニックは、化学の授業に新たな局面をもたらしました。新しいCyber Classroom 2.0では、学校のみならず、関係者も、コンテンツの制作に参加するというオプションが開かれるようになっています。

プロジェクトリーダーのマーカス・クーニヒ(Markus König)は、SCWSで「これまでの主な課題は技術的なものでしたが、現在は、プラットフォームごとに3Dコンテンツを開発することが課題です」とコメントしています。インターネットに接続すれば、この作業ステップを簡単かつ直感的に実行できることを強調しました。

その背景にあるのは、「入手可能な膨大な量の知識を世界中でフル活用する」という考え方です。エボニックが過去5年間にわたり支援してきたプロジェクトには、教育、化学分野の専門家、そして学生たちが一丸となって取り組んでいます。新たなプラットフォームにより、プロジェクトに関してオンラインで連携したり、デジタル教育コンテンツを共同で制作したりすることが可能になりました。ユーザーは、参加者、そして共同開発者になることができ、デジタルメディアのコンピテンシーを獲得できます。

この技法の名前は「CyberDevTool」。これは、Cyber-Classroom Development Tool(サイバー教室開発ツール)の略語です。このプロジェクトのテクニカルサポートは、受賞歴のあるサイバー教室を考案したImximity社が担当します。アクセスする際に用いるのは、従来型の3DモニターやVRメ

エボニック ジャパン 株式会社  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

ガネ、ゲームコントローラなど標準的な設備のため、学校の授業だけでなく、家庭用パソコンでの個人的な使用にも適しています。

エボニックは、同社の提携校において自然科学の授業をさらに楽しいものにするための取り組みの一環として、この学習プラットフォームを世界中で提供します。マーカス・クーニヒ(Markus König)はSCWS2017の参加者に対し、エボニックの「開発者セット」の中の無料のパーソナルアクセスコードを使用し、新しいトピックの開発を後押ししてほしいと呼びかけました。

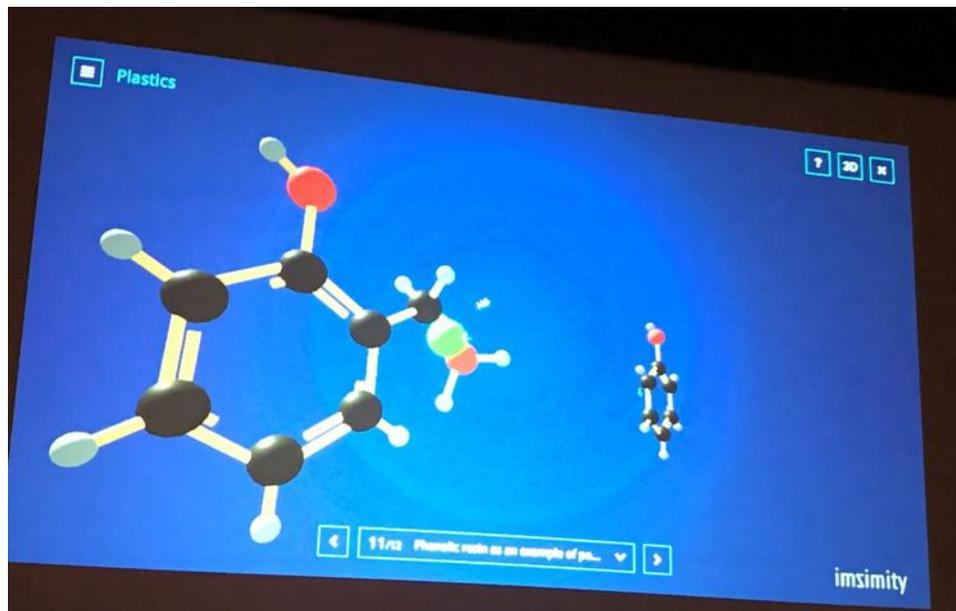
エボニックは、この技術を同社の研究開発、マーケティングおよび販売、教育、さらなるトレーニングの分野にも応用していく予定です。

世界科学館サミットは、科学館、博物館、大学、研究機関、ならびに政府、産業界、国際機関、非政府組織、非営利団体、メディアの代表者が参加するグローバルな会議です。3年に1回開催され、今年も98ヶ国、地域から800名を超える参加者が集いました。

Cyber Classroom 2.0 について詳しくはこちら  
[www.evonik.de/cyber-classroom](http://www.evonik.de/cyber-classroom)



キャプション:SCWS2017でのプレゼンの様子



キャプション: Cyber Classroom 2.0画面イメージ

### エボニック インダストリーズについて

ドイツのクリエイティブな産業グループであるエボニックは、スペシャルティケミカルの世界的リーダーです。専門性の高いビジネス、顧客中心の革新的な技術力、信頼できるパフォーマンス志向の企業文化は、エボニックの企業戦略の根幹であり、収益性の高い成長と持続的な企業価値向上に貢献します。エボニックが優位性を誇るマーケットから企業利益の多くはもたらされています。エボニックは100ヶ国以上で事業を展開し、2016年度は36,000人以上の社員を有し、総売上高は約127億ユーロ、EBITDA(金利・税金・償却前利益)は約21.65億ユーロを計上しました。

### 免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AGはこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは2017年11月16日にドイツで発表されたものを翻訳しています。)